

教育委員会だより

恵那市教育委員会 総務課

TEL 0573-43-2112

平成 25(2013)年8月発行 No.3

改めて・・・「教育は人なり」



鈴木隆一委員

私たち教育委員は、「教育委員会訪問」として事務局に同行し、市内の小学校15校と中学校8校を訪問することになっています。ほぼ1日をかけて校長先生をはじめ各担当の先生から、その学校の規模や、地域ならではの特色のある教育活動の内容や、現在抱えている問題や課題などの説明を受けます。その後、全クラスの授業を参観させていただきます。

教室に数名の子どもしかいないクラスから30数名のクラスまで、どの学校でも学年が同じであれば同じ教科書を使い、どの学校もほぼ同じ進度でとても活気ある授業が進められています。

授業は、先生の「指導力」が発揮できる場所であり、結果によっては教師冥利を実感できる場でもあります。何校かの学校を見せていただくなかで、学校により、先生により、当たり前のことではありますが、ずいぶん違いがあることに気づかされます。

先生は準備万端整えその授業に臨んでおられますが、まれに「？」と思われる授業もあり、子どもたちを十分把握した「わかる」授業なのかな・・・と不安を感じる時もあります。

「教育は人なり」といわれますが、「わかる」授業とは技術だけでなく、先生の「人間性」＝「子どもへの接し方」も加味されます。「人間性」を養うためにはそれなりの努力も必要です。

人間としての「在り方」、「生き方」を学び続ける教員＝教育者が多く育ってほしいと願っています。

総務文教委員と教育委員と語る会

恵那市議会総務文教委員と教育委員は、3年前から年1回恵那市の教育行政などについて意見交換をする会を開催しています。

今年度も平成25年6月28日に総務文教委員から提案されたテーマについてガヤガヤ会議形式で行いました。

今年のテーマは、○学力の向上について ○土曜日授業の実施について ○学校のいじめ問題について ○不登校の状況と先生の休職状況についての4つで、総務文教委員からの質問や意見に対して教育委員や教育委員会事務局が意見を述べる形で、約2時間にわたって活発な意見交換が行われました。

学力の向上については、教員の指導力の向上が重要であること、また教員が子どもたちと関わる時間の確保も必要だが、社会情勢の変化などから難しくなっているということが浮かび上がってきました。土曜日授業の実施については、総務文教委員会で東京都港区へ視察に行く予定があるということで、視察した情報を教育委員会にも教えていただくようお願いしました。学校のいじめ問題については、恵那市は現在比較的落ち着いたが、小さいざこざはどの学校でもある。教員はアンテナを高くして異変を見逃さないようにしたいという教育委員会からの説明を行いました。総務文教委員からはいじめ防止条例等の制定についての問いかけがあり、論議の必要性を確認しました。不登校の状況と先生の休職状況については、教育委員会から現状の報告をしました。

最後に、先生方ががんばっている姿に議会からも応援をしていただけるという力強い言葉をいただきました。



恵那市社会教育委員を紹介します。

*** 社会教育課 ***

恵那市教育委員会では、社会教育法に基づき、社会教育に関連する諸計画の立案や、教育委員会からの諮問に対し意見を述べていただく目的で、学校教育及び社会教育関係者、家庭教育の向上に尽力されている方、有識者などの中から、社会教育委員を委嘱しています。

今までに、家庭教育支援計画の策定・見直し、放課後こどもプランや生涯学習推進計画作成へのアドバイス、子どもたちの安心安全のための携帯電話等の利用方法についての提言などを行っていただいています。

平成 25 年度には、下記の 11 人の方々に 2 年間の任期で委嘱しました。恵那市の社会教育を通して人づくりとより良いまちづくりにご活躍いただきます。よろしくお願いします。

氏 名	地域・役職等	氏 名	地域・役職等
澤田 晃二	小学校長会代表	○ 加藤 孝美	長島町
吉村 将明	青年会議所代表	桐山 智子	東野
柘植 森衛	長島町	加藤 規久	大井町
◎ 高木 應浩	長島町	樋田 一成	笠置町
大島 隆	串原	小栗 早苗	岩村町
○ 柘植 孝彦	飯地町		

◎委員長 ○副委員長

恵那の味を子どもたちに・・・

*** 学校給食センター ***

恵那市では、恵那市学校給食センター、明智学校給食センター、岩村学校給食センター、山岡学校給食センターの4つの給食センターがあります。恵那市では、①安全・安心な給食であること②栄養管理のしっかりした献立であること③子どもたちの健康を考慮した献立であること④変化に富んだ献立であること⑤地元の食材の使用をこころがけること この5つを「恵那市の学校給食基本方針」とし、学校給食の運営をしています。恵那の味を取り入れた学校給食献立を一部紹介します。

<五平餅>

郷土料理の五平餅です。給食センターで作ったタレをつけて、じっくり焼いています。

<細寒天>

山岡町特産の細寒天を使用した和え物や、酢の物、サラダを取り入れています。

<ハヤシチュー>

恵那市自慢のハヤシライスを、学校給食にも取り入れています。

バターと小麦粉を 1 時間くらいかけて炒めて、ルウから作っています。



学校給食を通して子どもたちに恵那の味を伝えられるよう、職員一同、給食づくりに励んでいます。